

# やはば

議会だより

188  
2014.4.16



はい😊元気な返事  
(煙山保育園入園進級式)

予算審査特別委員会

平成26年度一般会計予算 91億5280万円…… 2

旧矢巾中跡地の請願審査は趣旨採択  
利活用策は慎重に検討を…………… 13

一般質問 町政を問う

消費税増税の本町への影響は 一般質問8議員…………… 16



# 復旧を最優先

## 平成26年度予算

# 災害



3月定例会は2月26日から3月20日までの会期で開催され、26年度の予算を中心に、条例案や補正予算等を審議しました。予算は、予算審査特別委員会を設置して審査され、本会議においてすべての会計が可決されました。

### 歳入

町の主要事業を行う一般会計予算は、前年度比4.6%増の91億5280万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、歳入は依存財源の大きな割合を占める地方交付税が3%減の17億2720万円と

なり、町税・国庫支出金・町債などは増加しました。国庫支出金では、平成28年1月から運用開始予定の共通番号制度導入に向けた補助金として、約8590万円が計上されています。

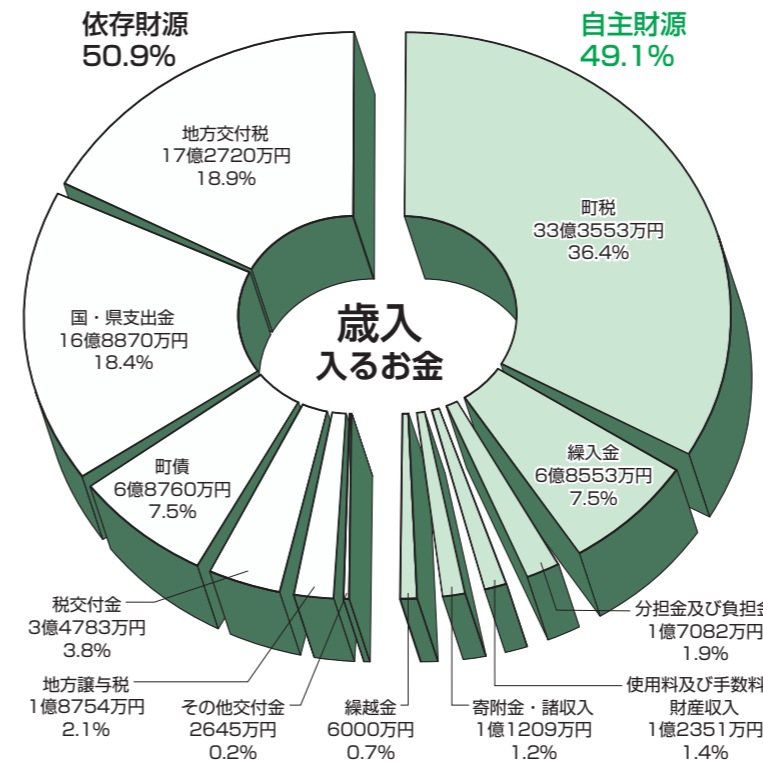
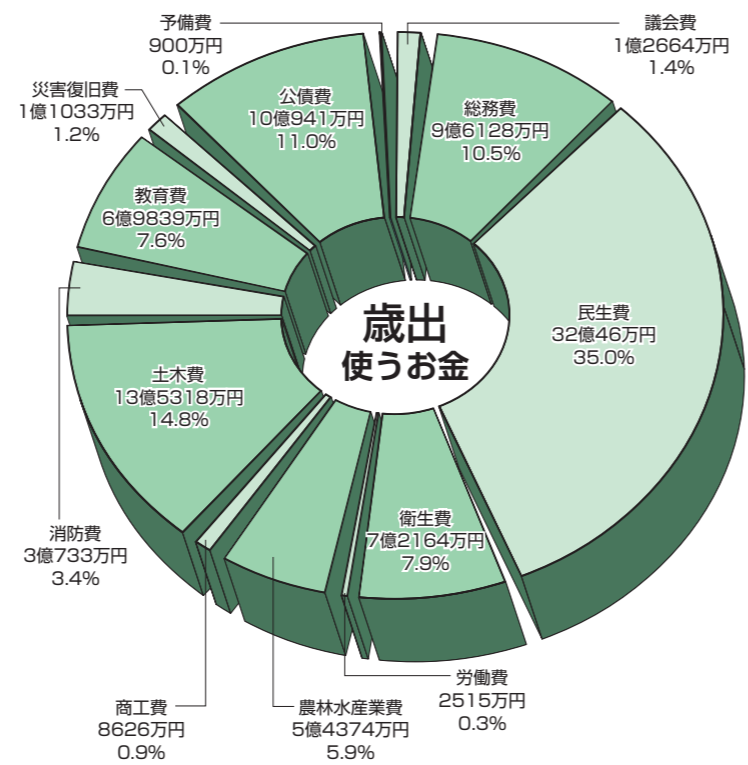
### 歳出

歳出においては、総務費・農林水産業費・商工費などが減少し、民生費・土木費・災害復旧費などは増加しました。特に昨年8月9日の大雨災害における災害復旧関連事業の増加が大きく、土木費は15.7%増の約13億5318万円、災害復旧費は大幅増の約1億1033万円となりました。

また新規事業として、不妊治療費助成金や6次産業化支援事業委託料なども計上されました。

今年度の主な事業内容については4～5ページ、各特別会計・事業会計については6ページの通りです。

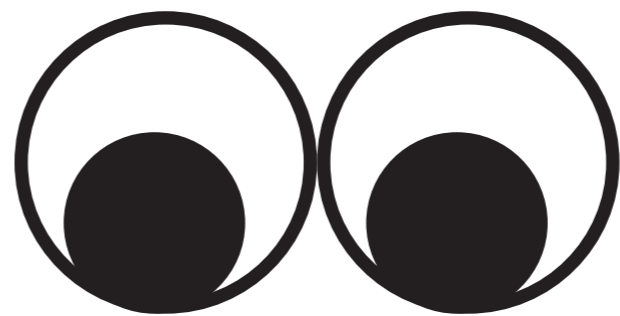
## 一般会計 91億 5280万円の内訳



財源区分	名称	解説
自主財源 (地方自治体が自らの権限で収入とする財源)	町税	地方自治体が直接徴収する税。個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税など
	線入金	基金線入金は預金等を取り崩すもの
	繰越金	前年度の残金
	分担金及び負担金	特定のサービスを受益する者から徴収するもの。保育所運営費負担金など
	使用料・手数料・財産収入	使用料、財産収入は町の財産から得られるもの。手数料は諸証明交付手数料など
	寄附金・諸収入	諸収入はほかに分類されないもの。延滞金や電気使用料など
依存財源 (国・県など他からの収入に依存する財源)	地方交付税	一定の基準で算定した支出より収入が少ない場合に国から交付されるもの
	国・県支出金	国や県からの補助金など
	町債	財務省や銀行などからの借入金
	税交付金	都道府県が徴収した税のうち、市町村に交付するもの
	地方譲与税	国が徴収した税のうち、地方公共団体に譲与するもの
その他交付金	国策による減収や特定の経費に充てるために国から交付されるもの	



# 平成26年度予算



# 目玉事業

**煙山保育園改築**  
3億5533万円  
園舎の老朽化に伴い煙山保育園を改築します。併せて太陽光発電設備も設置する予定です。



改築予定の煙山保育園（12月完成予定）

## 国民保養センター改築 761万円

25年度予算からは1億6037万円が繰り越されており、12月の再開に向け改築工事を進めます。



再開が待たれる 国民保養センター・やまゆりハウス（後方）

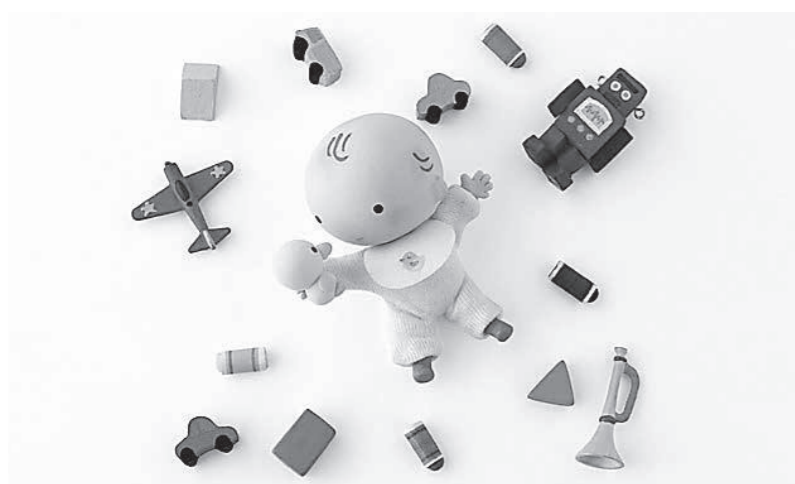


区画整理事業が進む矢幅駅前地区

**矢幅駅前地区事業**  
20億9729万円  
駅前地区区画整理事業の推進、複合施設の実施設計などに取り組みます。

## 不妊治療費助成事業 250万円

経済的な負担を軽減するため、保険適用外の一般不妊治療および治療費が高額な特定不妊治療に対する助成事業を行います。一般不妊治療については県内初となる町単独助成事業として実施します。



駐車スペースが不足している矢巾斎苑

**矢巾斎苑駐車場整備**  
255万円  
矢巾斎苑に新たな駐車場を整備するため、用地買収を予定しています。

## 煙山児童館増築 7447万円

児童数が増加し、混み合っていた煙山児童館を増築します。



増築が予定されている煙山児童館（11月完成予定）



住みたいと思う

町づくりの推進を



# 特別会計予算

国民健康保険事業特別会計 25億2356万円

国民健康保険に加入している方への医療費や出産育児一時金、葬祭費などの給付のほか、健康保持およびその増進を図るために特定健康診査・特定保健指導などの事業を行います。

前年度比 5.6%増  
被保険者(5777人) 1人当たり 43万6828円

介護保険事業特別会計 17億4879万円

40歳以上の保険料の賦課徴収および65歳以上の方全員と40歳以上で要件を満たす方を対象に、要介護区分の認定、介護サービス費給付等を行います。要介護認定を受けていない方へ介護予防事業も実施します。

前年度比 4.1%増  
被保険者(5824人) 1人当たり 30万273円

後期高齢者医療特別会計 1億6279万円

75歳以上の方全員と65歳以上で一定の障がいがある方を対象に、被保険者証の交付、保険料の賦課徴収、入院時の食事代や高額療養費などの各種申請受付を行います。

前年度比 7.2%増  
被保険者(2837人) 1人当たり 5万7381円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計 24億1024万円

矢幅駅西地区、駅前地区の整備事業、駅前複合施設の建設などを行います。矢幅駅前地区土地区画整理事業については、平成23年度から工事に着手し本年度で4年目となります。

前年度比 16.8%増  
町民(2万6821人) 1人当たり 8万9863円

※町民1人当たりの金額は3月1日現在の総人口から、被保険者1人当たりの金額は2月末現在の人数から算出しました。

# 企業会計予算

水道事業会計 収益的支出 5億3901万円 資本的支出 5億7274万円

下水道事業会計 収益的支出 10億5406万円 資本的支出 10億2955万円

※水道・下水道事業会計は複式簿記によって会計処理を行う企業会計なので、表記の方法が異なります。

# 質疑

# 予算審査特別委員会 白熱

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会(藤原由巳委員長、村松輝夫副委員長)を設置して審議しました。

## 一般会計

### 歳入

**昆** 町民法人税を減免して企業誘致に結びつけられないか。

**税務課長** NPO法人や社会福祉法人などには町条例により減免があり、誘致企業には固定資産税の減免がある。

**小川** 個人町民税等の滞納者に対する分納相談の状況とその対応は。

**税務課長** 相談件数は844件で、差し押さえは123件となったが、年々減少してきており、便宜を図りながら滞納解消に努めている。



防犯カメラ設置予定の中村地区

## 総務

**村松(輝)** 開発中の中村地区に防犯カメラが設置されると聞いているが、防犯上の観点からその他の地域にも設置すべきではないか。

**総務課長** 中村地区に開発業者から5台を寄付するとの話はあるが、その他の住宅地等は住民の理解も必要であり、今後検討していきたい。

**齊藤** 防犯灯のLED化とAPNペアの変更契約手続きは行っているのか。

**企画財政課長** 26年度98基設置の予定であり、合計126基で全体の7.4%となる。変更手続きは各自治会で行っているが、手数料は補助している。

**藤原(梅)** 中村地区と藤沢地区の開発に伴い世帯数が増え

ており、行政区の再編が必要ではないか。

**総務課長** 今後、対象地区の行政区と協議し、対応していきたい。

**高橋** 矢巾斎苑に屋外トイレを設置すべきでは。

**住民課長** 設置に向け検討していく。

**廣田** 公用車の更新基準はあるか。

**総務課長** 基準はないが、各点検時の業者による情報や修理費増などを勘案し更新している。

**山崎** 各自治会で防災力向上などを目指して土囊作りの訓練などを行ったらどうか。

**総務課長** 各自治会の要望により、矢巾分署などの指導を受けられるよう対応したい。



# ぎゅんぎゅん守る 安全・安心

## 産業・建設

**谷上** 東小学校への通学路である藤沢9号線の改良工事

は、27年に向けて行うのか。  
**道路都市課長** 26年度は測量調査し、その後用地買収を行う予定である。



企業誘致が進むウエストヒルズ広宮沢

**山崎** 企業誘致の現状はどうなっているか。

**商工観光課長** ウエストヒルズ広宮沢への企業誘致は、現在まで55件で事業系区画は77・2%、住居系区画は85%となっており、25年度は企業が10社契約している。

**藤原(梅)** 道路関係の請願に対する取り組み状況は。

**道路都市課長** 請願129路線のうち完了は85路線。残り44路線のうち42路線を対象に総合計画の中で検討する。

**小川** 煙山ダムの土砂浚渫が急がれるが、今後の事業状況は。

**農林課長** ダムに流入する河川は浚渫済みであり、ダムの土砂除去は5月中に完了予定である。



土砂の除去が急がれる煙山ダム

**村松(信)** 日本型直接支払制度では草刈等の労務費支払が認められたが、自己分の作業との区別をつける必要があるのではないか。

**農林課長** 作業は地域の総意で自由に決め、地域の農地をみんなで守ることを目的としている。

## 福祉・環境

**川村(農)** 高速道路地下道のボックスカルバート天井付近に虫が大量発生するが、対応窓口と対策は。

**道路都市課長** 道路都市課が窓口となり、状況確認のうえネクスコ東日本に対応を依頼する。

**村松(信)** 松くい虫の被害を受けた松の伐採後は、どのようにするのか。

**農林課長** 樹幹注入は5件の補助を行った。  
またまっけて被害のある町有地の松は伐採し、新たな品種に植え替えている。

**川村(よ)** ゴミの減量とゴミ出しについて、学生にどう説明しているのか。

**住民課長** 岩手医大の学生には、毎年大学で行うオリエンテーションで説明している。

**米倉** 樹木が生い茂っている公園整備と遊具事故防止のため



目指せ！ラジオ体操日本一の町

めの点検をしているか。

**道路都市課長** 樹木の剪定や刈り取りは業者委託しており、遊具は毎年点検をしている。

**昆** 障害福祉計画策定には障がい者本人の参画もすべきではないか。

**生きがい推進課長** 計画策定には障がい者本人や家族と事業者が参画していただき策定していく。

## 教育・文化

**藤原(梅)** ラジオ体操日本一の町となるよう取り組み、本町のPRにもつなげては。

**住民課長** 26年度は各行政区にも出向き指導する。  
また、秋山エリカ氏と日本女子体育大学学生を招き、取り組む予定である。

**小川** 旧矢巾中グラウンドへのトイレ設置内容と自転車置き場の撤去の考えは。  
**学務課長** トイレと水飲み場

は早期に着工し完成させる。  
自転車置き場は周囲のここの目的からも残す。

**川村(よ)** 小中学校の陸上記録会を旧矢巾中グラウンドでできないか。

**教育長** 小中学校はトラックのある紫波町の施設での開催を考えている。  
中学校は上部機関の大会がないので中止する考えである。

**齊藤** 総合計画にあった学校給食の食器更新を延期したが今後の計画は。

**学務課長** 来年度の事業で更新を計画し、プレートは仕切りのあるもので検討していく。

**昆** 煙山小のパソコンを購入入で更新する予定としているが、リースの検討は行われなかったのか。

**学務課長** 購入とリースを検討したが、各学校で6年に1回更新しているため、リースにすると管理が難しくなり、購入のほうが費用がかからないと判断した。



### 特別会計

**小川** 子どもの医療費補助拡  
大と状況は。

**住民課長** 26年度も25年度と  
同様に就学前まで半額補助。  
支援の見直しは26年度中に方  
向を示す。

**昆** 要支援の通所・訪問の  
各介護が地域支援事業になる  
が、変わらざる使えるのか。  
**生** 生きがい推進課長 変わりな  
く使えるようにしていく。

**税務課長** 26年度に策定する  
が、毎年給付費が上がって  
り、現在より高くなると思  
う。

**小川** 災害を受けて、駅前  
区画整理事業の見直しはあ  
るか。

**区画整理課長** 車塚の未改  
修箇所は改修した。また、上  
堰には一回り大きいボックス  
カルバートを入れる予定であ  
る。



公共下水道事業で改修工事中の車塚

### 水道・下水道 企業会計

**高橋** 水道管の鉛管更新と耐  
震化の見直しは。

**上下水道課長** 26年度で鉛管  
更新は90%になると見込んで  
いるが、耐震化は2200万  
の予定で、全体の9.4%に  
なる見込みである。

**山崎** 矢次の下水処理場は昨  
年の大雨で被災したが、老朽  
化も進んでおり、公共下水道  
につなぐ計画の考えは。  
**上下水道課長** 県の担当と協



大雨災害で被災した矢次下水処理場

議しているが、早くて3年ぐ  
らい要すると見ている。  
**声生** 下水道普及率100%  
を目指し、今後どう取り組も  
うとしているのか。

**上下水道課長** 平成30年度ま  
では整備計画地区の工事を  
完了したい。  
計画地域外は浄化槽整備に  
より水洗化を図り、普及率向  
上に努めていきたい。

# 審査報告

予算審査特別委員会委員長 藤原 由巳

## 健全財政の確立に努められたい

平成26年度一般会計予算は、  
昨年の災害復旧・復興関連予  
算を含めた歳入確保に努め約  
4億円増の91億円余となった。  
歳入は、町税の増で自主財  
源比率49%を維持しており、  
今後も税等の高収納率を維持  
し、さらなる健全財政の確立  
に努められたい。

駅前地区土地区画整理事業  
は2年後の完工を目指し、複  
合施設建設等の工事を順調に  
進められたい。  
上下水道事業は、新たな水  
源確保等の供給体制の構築と  
管路の改修を含めた老朽化対  
策も併せて、公営企業として  
の健全経営に努められたい。

新規事業は、煙山保育園と  
煙山児童館の増改築事業と、  
少子高齢化に対処するための  
事業等が多く盛り込まれてお  
り、災害復旧事業と併せ遅滞  
なく進められたい。  
土地利用、農業政策は一部  
において課題も山積しており、  
早期解消に鋭意努められたい。  
年々増加する国保・介護事  
業対策として、予防医療を基  
本としての地域ケア体制の構  
築に一層努められたい。



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

### 災害の復旧復興を優先

災害復旧、復興など住民の  
安全・安心確保のための事業  
を優先させた予算編成である。  
医大附属病院開業に合わせ  
たアクセス道路整備、藤沢・  
中村地区の町づくりや煙山保  
育園改築、煙山児童館増設な  
どの子育て支援の充実並びに  
災害に強い「町づくり」事業  
の推進を評価し、全ての26年  
度予算に賛成する。  
齊藤 正範

### 国保税の引き下げを

本町の24年度国保税は1人  
当たり9万2354円で県内  
市町村で一番高く、町民の大  
きな負担になっている。26年  
度は一般会計から法定外繰り  
入れをして下げるべきだ。  
町職員は10年間で28人削減  
しており、町民に対する行政  
サービス不足につながること  
から反対する。  
川村 よし子

### 町づくりに町民の声を

子どもの医療費就学前まで  
半額助成は大変遅れている。  
駅周辺開発は、好転しない  
経済、人口減少、町民ニーズ  
の多様化、治水上の見直し  
が必要である。  
複合施設は駐車場の問題が  
解決せず、建設費に12億円、  
維持管理費に年間1億円は高  
すぎることから、時間をかけ  
町民の合意形成を図るべき。  
小川 文字

## 賛成

### 不妊治療に町の補助

健康長寿の町づくりに関し  
ての各種事業、認知症対策  
合推進事業への取り組み、医  
療保険が適用されない一般不  
妊治療についても県内で初め  
て町単独事業としての取り組  
みがされ、選択と集中を念頭  
とした予算となっている。  
厳しい環境下でありながら、  
適切に配分した予算であり賛  
成する。  
谷上 哲

# 討論

## 反対



### 補正予算

補正予算は一般会計と4特別会計、水道事業会計、下水道事業会計で計上され、一般会計補正予算は、約2904万円を追加し、総額約105億8665万円となりました。主な内容は次の通りです。

#### 主な歳入

▽農地等災害復旧費補助金 6554万円

▽特用林産施設等体制整備事業補助金(原木シイタケ) 892万円

#### 主な歳出

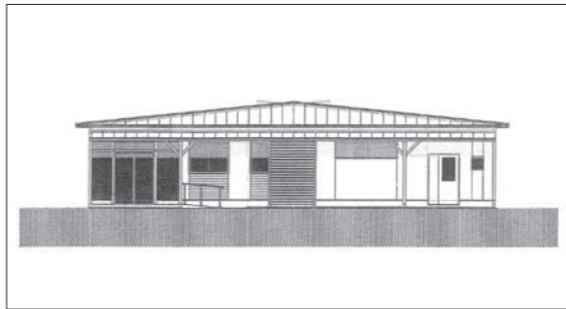
▼国民保養センター災害復旧事業 3100万円

▼被災者住宅再建支援事業補助金 6500万円

#### 【主な質疑】

**質問** 被災者住宅再建支援事業は、震災か大雨災害か。  
**答弁** 震災で沿岸から町内に移住してきた被災者への補助で、複数世帯への補助100万円が8件、単数世帯への補助75万円が2件である。

**質問** 国民保養センター災害復旧事業の増額理由は。  
**答弁** 管理棟の建て替えに伴う高圧変電装置設置、厨房工事、土壌改良などを見込んでの増額である。



国民保養センター完成予想立面図

### 条例

#### 下水道基金条例制定

下水道事業の円滑な財政運営に要する経費の財源に充てる基金を設置するため、新たに条例が制定されました。

#### 職員定数条例改正

平成27年開催の岩手国体に向けた準備・推進体制強化のため、教育委員会部局を1名増員し、町長部局を1名減員します。

### あつせんの申し立て

福島原子力発電所事故により、空間線量や給食食材・農産物等の放射能測定に対応した人件費約181万円の損害賠償を求め、原子力損害賠償紛争解決センターに対し、あつせんの申し立てを行います。

### みなさんからの請願

▽「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願  
請願者 菊池 美香子さん ほか5名  
紹介議員 芦生 健勝

▽旧矢巾中学校跡地の利活用策として医療系専門学校の誘致を求める請願  
請願者 矢巾町商工会 会長 佐々木 嘉七さん  
紹介議員 芦生 健勝

### 採択

#### 審査意見

ゴミの排出を最小限に抑えるには、ゴミの発生を抑える「リターナブルビン」などの再使用を第一に進めるべきだが、現在は税金を投入するリサイクルが優先であり、ゴミの総排出量は減る状況にない。包装容器を製造している生産者の自己責任を強化し、社会的コスト低減を図るべきである。

▽旧矢巾中学校跡地を社会教育施設として有効活用を図ることを求める請願  
請願者 島山 壽美さん 下村 次弘さん  
紹介議員 山崎 道夫 小川 文子

2つの請願とも、旧矢巾中学校跡地の利活用に関する請願であることから、矢巾中学校建設調査特別委員会において審議するのが妥当という判断から、特別委員会において請願の審査が行われました。詳細については次ページの通りです。

# 旧矢巾中跡地の請願審査は趣旨採択

## 利活用策は慎重に検討を

旧矢巾中学校跡地利活用に対して2つの請願が出されていたが「矢巾中学校建設調査特別委員会」の最終報告が出され、本会議において趣旨採択すべきと決定した。

#### 〈請願審査経過〉

採決方法について2つの意見が出された。  
①どちらか一方の請願で採決すべきである。  
②両請願とも、町民の願いと矢巾町の将来を見据えて提出されたもので、その願意は理解できることから、両請願とも趣旨採択すべきである。  
採決は①について行い、賛成7・反対9で否決となったことから、2つの請願は趣旨採択すべきと決定した。

※趣旨採択とは  
請願について願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法のことをいう。

### 矢巾中学校建設調査特別委員会最終報告

矢巾中学校の移転改築事業は校舎が平成23年11月に完成し、24年6月で工事のすべてが完了した。工事関係者をはじめ町当局の努力に敬意を表する。

旧矢巾中学校跡地利活用については、2つの請願が出ているが、両請願とも、跡地は本町の中心にある優良地であり、本町民の貴重な財産であることから有効に活用すべきとの趣旨であると認められる。今後、学校教育の充実、社会教育の推進など、跡地の具体的な利活用については、長期的な展望に立ち、その活用策を慎重に検討すべきである。

委員長 長谷川 和男

#### 反対討論

「両請願とも、貴重な財産を有効に活用すべきとの趣旨であると認められる」との意見が請願者に伝わりにくく「願意の妥当性」や「実現の可能性」等が議論されないまま、趣旨採択となれば課題が残ることになる。理解の分かれる趣旨採択について再度議論が必要であるとの思いから、調査意見書に反対する。

藤原 由巳



今後の利活用が注目される旧矢巾中学校跡地

特別委員会の最終報告に対し、本会議において採決の結果、賛成9・反対8で趣旨採択と決定した。

#### ○参考

【25年度趣旨採択をした議会】  
花巻市議会・神奈川県川崎市議会・平塚市議会・静岡県掛川市議会・山梨県甲府市議会・東京都稲城市議会・滋賀県甲賀市議会・北海道江別市議会・島根県議会・東京都議会など。

# 各議案の採決状況

平成26年第1回定例会（3月）

議案番号	提出議案名	議員名														採決結果				
		齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子		米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一
議案1号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案2号	矢巾町下水道事業基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案3号	矢巾町道路占用料に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案4号	矢巾町職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案5号	矢巾町行政財産使用料条例の一部改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案6号	矢巾町町営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案7号	矢巾町水路条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案8号	あっせんの申立てに関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案9号	町道路線の廃止に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案10号	町道路線の認定に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案11号	平成25年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案12号	平成25年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案13号	平成25年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案14号	平成25年度矢巾町下水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案15号	平成26年度矢巾町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案16号	平成26年度矢巾町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案17号	平成26年度矢巾町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案18号	平成26年度矢巾町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案19号	平成26年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案20号	平成26年度矢巾町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案21号	平成26年度矢巾町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案22号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案23号	平成25年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案24号	平成25年度矢巾町水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案1号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
—	矢巾中学校建設調査特別委員会報告	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対

注：藤原義一議長は採決に加わらない。

# 臨時議会 災害復旧工事3件可決

平成26年第1回臨時会は3月28日に行われ、工事請負契約や議員発議の条例案等を審議しました。

## 工事請負 契約の締結

- 煙山ダム農業用施設災害復旧 1億8792万円
- 普通河川岩崎川河川災害復旧 1億357万円
- 山王茶屋前橋梁災害復旧 8553万円

### 【主な質疑】

**質問** 各工事の工期はどの程度か。  
**答弁** 煙山ダムは5月中の完了、岩崎川は年内、山王茶屋前橋は9月頃の完成をめざしている。

## 条例

### 議会定例会 回数条例を制定

**質問** 負担割合はどのようになっているか。  
**答弁** 煙山ダムが95・8%、岩崎川と山王茶屋前橋が66・7%の国庫負担である。

**質問** 煙山ダム工事における土捨て場はどこになるか。  
**答弁** 雫石町の矢櫃山付近の土砂置場に5万1600立方メートルを搬出する計画である。

**質問** 岩崎川上流部の立木処理は今後どうするのか。  
**答弁** 上流部は県の災害復旧事業で施工する。

**質問** 山王茶屋前橋は地形的に低くなっているが、もう少し高くできないか。  
**答弁** 災害復旧のため、原形復旧での工事となる。

# 各議案の採決状況

平成26年第1回臨時会（3月）

議案番号	提出議案	議員名														採決結果				
		齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子		米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一
議案25号	紫波町・矢巾町障害程度区分認定審査会共同設置規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案26号	煙山ダム農業用施設災害復旧工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案27号	普通河川岩崎川河川災害復旧工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案28号	山王茶屋前橋橋梁災害復旧工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案2号	矢巾町長専決条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案3号	矢巾町議会定例会回数条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案4号	矢巾町議会定例会規則の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案5号	矢巾町議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対

注：藤原義一議長は採決に加わらない。





やがみ さとし 谷上 哲 議員

# 消費税増税の本町への影響は 歳出で負担増となる見込み

平成26年4月1日から  
公民館使用料が変更になります

天中町公民館の使用時間及び使用料

室名	9時から17時まで (1時間までごとに)	17時から21時30分まで (1時間までごとに)
会議室	270円	370円
第1工芸室	420円	480円
劇中活動室	400円	480円
ギヤツリ	80円	120円
第1研修室	530円	740円
第2研修室	420円	610円
第3研修室	750円	1,050円
第4研修室	570円	840円
日本間(和室)	190円	260円
第1講堂室(和室)	620円	900円
第2講堂室(和室)	360円	530円
幼児室	110円	160円
習字室	820円	1,050円
稽古室	50円	90円
調理室	210円	290円
大講堂室	3,230円	4,770円

冷暖房を使用する場合には、使用料の30%の額を加算します。  
備品については、10円未満の金額については、切り上げとします。

消費税増税により変更になる使用料 (町公民館)

**質問** 増税に伴う本町の負担増加額はどの程度か。  
**町長** 平成26年度一般会計当初予算に計上した歳出で、総額約6900万円の負担増となる見込みである。

**質問** 本町で税率改正後も価格を据え置くものは。  
**町長** 少額の各種手数料や給食費などは据え置く。

**質問** 子ども子育て支援制度の中で、児童館の利用対象者の引き上げはあるのか。  
**町長** 現在小学3年生までであるが、平成27年4月から6年生までが対象になる予定である。

**質問** 税制改正により期待できる本町の主要事業は何か。  
**町長** 後期高齢者医療広域連合運営事業、介護保険事業特別会計繰出事業、障害者自立支援事業、町立保育園整備事業および予防接種事業などがある。

**質問** 税率改正による本町の地方消費税交付金の増加額は。  
**町長** 平成26年度一般会計当初予算歳入に計上した地方消費税交付金約3億2700万円のうち、増加額は約2700万円となる見込みである。

## コミュニティ活動の活性化を 人材の発掘に努める

**質問** 今後の地域コミュニティ活動の活性化を問う。  
**町長** 本町では住みよい地域社会を自らの手で達成するため、昭和55年に全国に先駆けて矢中町コミュニティ条例を制定し、コミュニティ活動を支援してきた。人材確保のために若年層や女性をはじめ参加の機会を設け、活動資金面での支援も行っている。

**質問** コミュニティ活動のリーダー養成の考えは。  
**町長** 団塊世代から若年層まで、幅広い世代において地域に欠かせない知識と経験を持つ人材の発掘は重要である。町民大運動会をはじめ多くの方が地域との関わりを持つきっかけづくりの場に引き続き取り組む事で、隠れた人材の発掘につながるよう努めたい。

# ズバリ 町政を問う



一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。  
3月定例会では8人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

### ● 谷上 哲 議員……P17

- ①消費税増税を始めとする税制改革が本町に与える影響
- ②本町のコミュニティ活動

### ● 山崎 道夫 議員……P19

- ①災害に強い町づくりの推進
- ②旧矢中中学校跡地の活用

### ● 藤原 梅昭 議員……P21

- ①災害に強い安全・安心な町づくり
- ②風化させない東日本大震災への支援状況
- ③女性パワーで町の活性化を
- ④スモークフリー（分煙社会）タウン宣言を

### ● 昆 秀一 議員……P23

- ①学校教育でのICT活用は
- ②特別な支援の必要な児童・生徒への教育の更なる充実を

### ● 米倉 清志 議員……P18

- ①消防団支援法による地域防災力の強化法
- ②旧矢中中学校跡地に看護専門学校を開設すること

### ● 齊藤 正範 議員……P20

- ①空き家対策は
- ②農業政策を問う
- ③学校教育について

### ● 川村 よし子 議員……P22

- ①子ども・子育て支援新制度で保育はどうなるか
- ②高齢者の医療と介護は
- ③国民健康保険税値下げを

### ● 小川 文子 議員……P24

- ①児童手当の差し押さえと預金の全額差し押さえの中止を求めて
- ②公民館利用について
- ③駅前建設予定の複合施設は

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、抜粋し内容を要約して掲載しています。





やまざき みちお 山崎 道夫 議員

## 災害に強い町と地域づくりを 防災の仕組みづくりに力を置く



橋げた撤去工事中の岩崎川橋

**質問** 昨年8月の大雨災害から7カ月経過したが、山王茶屋前橋と岩崎川橋の完全復旧はいつ頃になるのか。  
**町長** 山王茶屋前橋は平成26年度中の復旧を見込んでいる。矢次公民館前の岩崎川橋については、県の河川改修と調



よねくら きよし 米倉 清志 議員

## 地域防災力の強化は 災害に強い町づくりを目指す



災害に強い町づくりの一翼を担う消防団

**質問** 消防団支援法による地域防災力の強化を問う。  
**町長** 安全・安心のため防災力の強化を図り、災害に対応できる町づくりを目指す。  
**質問** 消防団員の退職報奨金等の引き上げは。

**町長** 消防団等の共済基金制度により本人に退職報奨金が支給されている。今後全階級に一律5万円を上乗せし、団員報酬や出動手当の引き上げについても検討していく。

**質問** 町内の団員確保が急務であり、団員OBに再入団を促す取り組みは。  
**町長** 消防団の各々が積極的に勧誘をしている。特に昼には消防団員が不足することから団員OBほかを活用できるような対策を検討する。

**質問** 地域の安全性、防災力の強化のため、町内に勤務する公務員や会社員および学生を防災の担い手として参加を要請する考えは。  
**町長** 矢中分署では一般企業や各学校の防災訓練を支援し指導している。本町の防災訓練には企業や福祉施設の職員や地域住民も参加しており、災害時には企業からの人的派遣の協定を締結するなど防災力の強化を進めている。

**質問** 町民が学内の施設を借用し利用するとともに、グラウンドと併せて一体的に使用することは可能か。  
**町長** 龍澤学館が専門学校を開設した場合、町民に教室などを開放し、講演会や地域の学習会に講師を派遣するなど地域密着で考えており、グラウンドも町民が使用できる。

## 旧矢中跡地に 専門学校計画は 岩手で活躍する 学生を養成

**質問** 旧矢中中学校跡地に看護専門学校を開設する計画は。  
**町長** 龍澤学館の計画では、跡地に学校を建設し、全国的に不足している医療系、福祉系、看護系の人材育成に総力をあげ、特に岩手の医療系で活躍する学生を養成する計画である。

**質問** 町民が学内の施設を借用し利用するとともに、グラウンドと併せて一体的に使用することは可能か。  
**町長** 龍澤学館が専門学校を開設した場合、町民に教室などを開放し、講演会や地域の学習会に講師を派遣するなど地域密着で考えており、グラウンドも町民が使用できる。

## 専門学校開設 何年待つのか 待っても5年

**質問** 龍澤学館理事長の説明によれば、いまだ計画に至っておらず、特に医療系については設置基準が大変厳しく、課題が多いことも明らかにした。したがって専門学校は諦めて、町民が活用できる屋内体育館や災害時に避難場所として使える多目的広場等の建設を進めるよう提案する。  
**町長** 専門学校の開設により、町の活性化が図られるという期待から、教育施設として活用するのが望ましいと考えており、龍澤学館の早期開設を期待している。

**質問** まだまだどが立たない専門学校開設を何年待つつもりなのか。  
**町長** 待っても5年がめどだと考えている。

整を図りながら早期に復旧できるよう県と協議していく。

**質問** 岩崎川橋について、県は川幅が確定すれば早急に架け替えることも可能と聞いているが、その見通しは。また、橋げたの撤去はいつ頃か。  
**町長** 川の線形が固まり次第、地域の説明会を開催し、合意形成ができれば測量に入る。その後、用地交渉を進めるとのスケジュールが示されており、順調に進めば26年度中の工事着工は可能と思う。なお、橋げたの撤去は25年度内には終えたい。

**質問** 防災基本条例を制定し、防災意識と防災力を高めるとともに、災害に対する即応力を強化するべきでは。  
**町長** 条例について将来的には検討するが、当面はハザードマップの見直しや、未組織地区の自主防災組織の設立、協定締結による企業参加などを図りながら、防災の仕組みづくりを行っていくことが重要と考えている。





ふじわら うめあき 藤原 梅昭 議員

# 安全・安心な町を取り戻す

## 主な被災箇所はおおむね完了



仮設歩道橋が設置された岩崎川橋

**質問** 被災箇所の復旧状況は。  
**町長** 南昌山線、岩崎川、山王茶屋前橋以外の主な被災箇所は年度内におおむね完了。

**質問** 未復旧箇所の今後の復旧計画は。  
**町長** 岩崎川および山王茶屋

**質問** 被災箇所の復旧状況は。  
**町長** 南昌山線、岩崎川、山王茶屋前橋以外の主な被災箇所は年度内におおむね完了。

**質問** 未復旧箇所の今後の復旧計画は。  
**町長** 岩崎川および山王茶屋

**質問** 老朽化に伴う橋梁の管理状況・長寿命化の対応は。  
**町長** 町の橋梁数は327あり、定期点検を5年に1回行い対応している。その中で長寿命化対応は44カ所の橋で実施している。

**質問** 自主防災組織の普及拡大を。  
**町長** 新たに組織する連絡協議会の中で情報交換・研修を行い、普及拡大を図っていく。

**質問** 再生可能エネルギーの推進状況は。  
**町長** 23年度より、家庭用太陽光発電システムに補助を行っており、25年度は44件で261万円の補助を行った。26年度も継続実施する。

**質問** 震災支援状況は派遣職員を増員。  
**町長** 本町へ避難されている方々の受け入れ状況は。  
**町長** 避難されている方は、55世帯117人。保健師等が全戸訪問し、健康状態・生活状況を把握し支援を実施中。

**質問** 被災地支援計画は。  
**町長** 26年度は1名増員し、2名の職員を大槌町への長期派遣と、税務職員の出張派遣も予定している。

前橋、城内山線および煙山ダム上流岩崎川は年内復旧予定。南昌山線は被害が甚大なため2年くらいかかる。ぬさかけの滝は、南昌山線の復旧に併せて盛岡営林署にて復旧を進めてもらう。岩崎川橋は県の河川改修事業との関係で時間を要するため、仮設歩道橋を設置した。マレットゴルフ場・水辺の里は復旧方法を検討中。国民保養センターは年内の営業再開に取り組んでいる。煙山ダムの浚渫は5月中旬に完了予定。

**質問** 震災支援状況は派遣職員を増員。  
**町長** 本町へ避難されている方々の受け入れ状況は。  
**町長** 避難されている方は、55世帯117人。保健師等が全戸訪問し、健康状態・生活状況を把握し支援を実施中。

# 増加している空き家対策は

## 現状把握と対応を検討する



さいとう まさのり 齊藤 正範 議員

**質問** 全国的に空き家が増加しており、倒壊や不審者の進入・放火の恐れなどがあり、町づくりの重要な課題と認めて、当該における空き家の状況を把握しているか。  
**町長** 総務省で行った「平成20年住宅・土地統計調査」によると、本町は930戸で総住宅数の10・1%であった。町としては調査していない。

**質問** 所有者の意向を調べた経過はあるか。  
**町長** 住民から倒壊や防犯上心配との情報がなく、意向を調べたことはない。

**質問** 固定資産税の軽減措置など、税法上の問題が影響しているのではないか。  
**町長** 住家屋を解体すると軽減措置が受けられないことや、高額な撤去費用を要することが考えられる。



商品開発に励む6次産業化推進セミナー受講者

**質問** 防犯と環境保全のための危険な空き家対策が必要では。  
**町長** 問題が発生する前に、現状把握と対応を検討する。

**質問** 政府が発表した農業政策の活用し所得向上を図る。  
**町長** 6次産業化の方針は。農産物の加工に必要な施設整備や、商品開発に要する経費の一部助成を行う。今年度から実績のある講師を招き「6次産業化推進セミナー」を開催し、マーケティング等専門分野の研修機会を設ける。

**質問** 小規模農家対策は。  
**町長** 複合経営の労働力としての連携や、日本型直接支払制度を活用した農地のり面の草刈や水路の泥上げ等で、地域と関わるよう指導する。

**質問** 農地集約の状況は。  
**農業委員会会長** 1月末現在で約729鈔の集約で、担い手への集約目標である720鈔は達成されている。

**質問** 防犯と環境保全のための危険な空き家対策が必要では。  
**町長** 問題が発生する前に、現状把握と対応を検討する。

**質問** 政府が発表した農業政策の活用し所得向上を図る。  
**町長** 6次産業化の方針は。農産物の加工に必要な施設整備や、商品開発に要する経費の一部助成を行う。今年度から実績のある講師を招き「6次産業化推進セミナー」を開催し、マーケティング等専門分野の研修機会を設ける。

**質問** 小規模農家対策は。  
**町長** 複合経営の労働力としての連携や、日本型直接支払制度を活用した農地のり面の草刈や水路の泥上げ等で、地域と関わるよう指導する。

**質問** 農地集約の状況は。  
**農業委員会会長** 1月末現在で約729鈔の集約で、担い手への集約目標である720鈔は達成されている。





こん しゅういち  
昆 秀一 議員

# 1人1台タブレット導入を 先進地での取り組みを学んでいく



電子黒板を活用しての授業（不動小学校）

**質問** 教育へのICT（情報通信技術）の活用が盛んになってきている。小中学校でのICT化の状況はどうか。  
**教育委員長** 町内小中学校にICT機器を配置して積極的に活用している。

**特別支援教育の充実を  
町内全教職員が  
研修を受けていく**  
**質問** 特別支援学級の児童・

**質問** ICT導入で教師が指導するための研修は行われているのか。  
**教育委員長** 電子黒板等の活用は校内研修を実施している。

**質問** ICTを活用することにより反転授業を取り入れるかどうか。  
**教育委員長** 予習が必要な反転授業は課題もあるため、現在導入は考えていない。

**質問** 1人1台のタブレットの導入を検討しては。  
**教育委員長** タブレットを活用している学校を研修視察してきた。今後も先進地の取り組みを学んでいきたい。

**質問** 今後移転してくる療育センター・支援学校等とどう連携を取っていくのか。  
**教育委員長** それぞれとの連携をさらに深めて、特別支援教育に関わる教育相談体制の充実を図っていく。



かわむら こ  
川村 よし子 議員

# どう進める子育て支援 国の動向を注視し対応



のびのびと遊ぶ園児たち

**質問** 子ども・子育て支援新制度の事業計画策定に向けて、町民アンケートを行ったが、調査結果を町民に公表すべきではないか。  
**町長** 回収率86・9%、結果はホームページ・広報で公表し、町の「子ども・子育て会

議」で事業計画策定に活用していく。  
**質問** 施設型保育・地域型保育の面積基準をどう考えているか。  
**町長** 国の基準を基に、「子ども・子育て会議」に諮りながら基準を定める。

**質問** 保育の利用時間は各市町村が独自に定めることができるがどう考えているか。  
**町長** 短時間保育は8時間、長時間保育は11時間までを基本としており、子どもの成長に影響が出ないよう今後検討する。  
**質問** 現在8段階の所得に応じた保育料設定だが、生活していくのが大変で滞納する保護者をどのように考えているのか。  
**町長** 国の「子ども・子育て会議」で利用者負担（保育料）の水準や、市町村税の所得割額や多子軽減も含め検討しており、その動向を注視しながら対応していく。

**質問** 国の制度改正より、要支援高齢者が介護予防サービスを受けられなくなり、重症化するのではないか。  
**町長** 同じサービスが受けられるよう町独自の支援をする。

**高齢者の  
保健指導は  
重症化予防に努める**  
**質問** 高齢者の疾病は、早期発見・早期治療により医療費削減につながるが、保健指導はどのように行っているのか。  
**町長** 健康診断検診後、所見がある場合は保健師が家庭訪問をし、医療機関受診を促し重症化予防に努めている。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う





おがわ ふみこ 議員  
小川 文子

# 児童手当の差し押さえ中止を 内容を精査し対応する

**質問** 本町は、児童手当・給与・年金を含む預貯金の全額を差し押さえしている。  
児童手当の差し押さえは広島高裁で違法という判決が出ており、本町も同手当の差し押さえで訴えられたことから、差し押さえの中止を求める。

**町長** 本町は差し押さえ処分の取り消し、訴訟費用の負担、児童手当分と精神的被害に対する慰謝料の支払い請求が行われたが、原告から裁判終結の申し出が出され訴訟が取り下げられた。  
当町の町税滞納処分が違法であるとの認識は持っていないが、今回の事案に鑑み今後の差し押さえ処分ではさらに内容を精査し対応していく。

**質問** 預金の全額差し押さえ

は、生きる気力を失わせるとの町民の訴えにどう応えるか。  
**町長** 個々の事案に対応しているが、自主納税の意志のない方や分納誓約を行ったにもかかわらず滞納する方など、悪質な滞納者については滞納処分を行わなければならない。



駅前に建設予定の複合施設イメージ（南東方向からの外観）

## 複合施設計画に 町民の声を

### 住民説明会を開催

**質問** 駅前に建設予定の複合

施設の家が示された。資材費等の高騰のため鉄骨造で3階建てに変更、建設費12億円、維持管理費年間1億円は変わらない。町民の意見を十分聞く時間を確保すべきでは。  
**町長** 図書室の移転も含め計画案を作ったが、広報に掲載するとともに住民説明会を開き、2週間程度の意見聴取期間を設ける。

**質問** 駐車場は敷地内4台敷地外30台であるが、無料駐車場は確保できるか。  
**町長** 駅前の駐車場を無料とし、商店街パティオ分との共同利用を検討している。

**質問** 新幹線に近く、交通量の多いところであり、落ち着ける場所となるか。また将来他の地に図書館を建設する計画が生じた場合、どう対応するのか。  
**町長** 交差点であるが信号機も付くため安全であり、新幹線の影響はないと思う。将来のリフォームは可能である。

## 議会改革特別委員会経過報告

### より開かれた議会に向けて

## 通年議会制度の導入

議会において条例により、定例会・臨時会の区分を設けず通年議会制度の導入へ向けた議会改革を実施することになりました。

通年議会となればどう変わるのか。まず、第1に条例で定める月から1年を会期とします。例えば平成27年1月から1年間を会期とします。

第2に議会は会議を開く定例会を規則等で定めます。

第3に定例会でない会議は随時会議となります。実際の運営に当たっては、緊急の案件や検討しなければならぬ案件が出た場合、議長が随時会議としていつでも議会を開くことができるようになります。

このことにより、議会主導で問題の調査や審議に取り組めることから、例えば、災害箇所の視察や緊急な予算の審議ができ、柔軟な対応ができ



より開かれた議会を目指して

ることにより議会活動がより活発化されます。  
今後、議会の見える化や会派制の導入、議会の議決事項の拡大等さらなる議会改革を

進めて、皆さんの期待に応えられるよう一層の取り組みをしていきます。

委員長 廣田 光男

## 県町村議会広報コンクール 5度目の入賞



入賞した186号

## より読みやすく 親しみやすい議会だより

平成25年度（第32回）岩手県町村議会広報コンクールにおいて、「やはば議会だより」186号（25年10月16日発行）が入選3席になりました。

今後さらなる研さんを積み、町民の方々がより読みやすく、親しみやすい紙面づくりに取り組むべく、決意を新たにしています。

今後とも町民の皆様のご協力をよろしく願います。

議会だより特別委員会

編集委員長 山崎 道夫



受賞を喜ぶ議長と編集委員





東北選手権での筆者



全国大会に臨む筆者（右下）

## 第39回全日本バトントワリング選手権大会出場

いしがめ あげは  
**石亀 亜華羽**さん（矢巾北中学校3年 藤沢）

### 感謝の気持ちを表し 悔いのない演技を

私は、小学校1年生からバトンを習い始めました。当初は発表会や友達とのレッスンを楽しく、全国大会に参加するなんて夢にも思っていまませんでした。

そんな私が、もっと上手くなりたいたいという気持ちを強く持つようになったのは、小学校4年生の時、初めて東北支部大会に出場したことがきっかけでした。ここで他県選手のスピード感、技のレベルの高さを目の当たりにし、私は強い衝撃を受けました。そして、「もっと技のレベルを上げて全国大会へ行きたい!」と思うようになりました。

3年前、決まっていた全国大会出場が東日本大震災のためかきませんでした。それでも私は、練習を重ねました。毎週火・木曜日の夜の練習。土・日曜日は朝から夜までの

練習。基本的な身体の動きを見直すために月・水曜日には盛岡のバレエ教室へ通う日々を送りました。中学校の勉強との両立は難しくつらいものでしたが、このつらさに耐えたことが実を結び、全国大会出場につながったのだと思います。

これまでの練習を無駄にせず、今回出場できる全国大会を頑張ろうと思います。

私は今までバトンのメンバー、家族、友人や多くの方に支えられここまでできました。その中でも家族の協力に感謝しています。忙しい中、毎日のように送り迎えしてもらったこと。私は演技でこの感謝の気持ちを表したいと思っています。結果も大切だと思っていますが、自分自身にとって悔いのないベストな演技ができれば最高だと思っています。

## あ と が き

ソチオリンピック、パラリンピックの日本選手の活躍に一喜一憂しながら、世界を身近に感じて声援を送った。その後のウクライナの危機はまた紛争の火種になるのではないかと不安を抱かせた。国内に目を向ければ、集団的自衛権行使に前のめりの政府と、今月から消費税値上げがある。加えて本町にとってTPPは大きな問題だ。しっかりと情報を見極め世論の力を示す他ない。

議会だよりでも旧矢巾中学校跡地利活用をめぐる議論や予算審議をできるだけ詳しくお知らせし、町民の皆様と共に歩む議会を目指していきたい。

編集副委員長

小川 文子

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

昆 秀一

藤原 梅昭